

議長 次に、質問順位 2 番 7 番議員 中村充子君。

議長 中村充子君。

中村議員 通告に従いまして一般質問をいたします。

2024 年の年明け 1 月 1 日に石川県の能登半島地震がありました。

毎日、被災地の情報に接する度に心が痛みます。

改めて心よりお見舞い申し上げます。

家屋の倒壊や土砂災害、津波災害などで復旧活動が日夜行われています。

2 月 22 日に防災メールで「断水解消のお知らせ 今朝、発生した関ヶ浜地区における断水は解消しました。サビがでますのでご注意ください」とメールが届きました。

能登半島では、いまだに断水しているところがあります。

防災士の講義では、水道が復旧するのに 3 日程度かかると言われていましたので、余裕を持って 1 週間分の備蓄を自分で用意しておく必要があると思っておりましたが、能登半島地震では、報道で地震による水道管の破損個所が判らず、慎重に掘り進めながら破損個所を見つけているようです。

国土交通省によると能登半島の 6 市町は全体の 33% 下水管が機能を回復していないとのことです。

これまで和木町は大きな災害に見舞われておりませんが、もしこのような大きな災害が起きたら水道管はどうなるのでしょうか。

下水道も早くに完備しました。老朽化に伴い破損したところは修繕されているとお聞きしています。

併せて下水道管は現在、どうなっているのでしょうか。

人間が生きていくためには水が重要だと思い知らされたので、この度伺うことにいたしました。

和木町の水道管はどのような状態でしょうか。伺います。

議 長

山下都市建設課長。

山 下 都 市
建 設 課 長

ご質問にお答えする前に、先日の関ヶ浜地区の断水についてはポンプのトラブルということで、いろいろとご迷惑をお掛けしました。お詫び申し上げます。

それでは質問の回答をさせていただきます。

まず和木町が行っております水道事業についてでございますが、瀬田地区及び関ヶ浜地区におきましては、簡易水道事業として管理・運営をしております。和木地区につきましては、岩国水道局により、市の給水区域として適切に管理されている状況でございます。

和木町の簡易水道は、昭和 3 8 年に供用開始され、今年度で 6 0 年を経過しており、老朽化対策が急務となっている状況におきまして適宜、改築・修繕を行っているところでございます。

議 長

中村充子君。

中 村 議 員

月曜日と金曜日にですね、幅 6 0 c m ぐらいと深さ 8 0 c m で改修しているところを見たんです。だから計画的にされているのか悪いからしているのかそのところはちょっと理解できなかったんですが、札幌市のように年に 2 0 ヶ所、もう決めて 2 0 ヶ所のペースで施工しているということではなく、あらためてあれですかね、一応決めて、ある程度決めて年に何回かされているということでしょうか。

議 長

山下課長。

山 下 都 市
建 設 課 長

現在、簡易水道におきましては、中長期的なですね、工事の予定といいますか、ちょっとそういったところまでは決めかねておるところでございますけれども、適宜、新年度についても予算計上しておりますけれども、老朽化の著しいところから改築更新してまいりたいと考えております。

議 長	中村充子君。
中 村 議 員	北海道札幌市のように、計画はしていないけれども、その老朽化して、60 年経過してるので老朽化を予測してやっているという理解でよろしいですか。
議 長	山下課長。
山 下 都 市 建 設 課 長	具体的な計画はないとちょっと申し上げましたけれども、以前から老朽化施設も浄水場が主になりますけれども、そちらの改築の方はにらんでですね、基本計画とかちょっとそういったところまでは現在着手しておるところでございます。
議 長	中村充子君。
中 村 議 員	はい、理解しました。ありがとうございます。続いてよろしく願いいたします。 それでは次の質問ですが、全長は何キロになりますか。
議 長	山下課長。
山 下 都 市 建 設 課 長	和木町が管理いたします簡易水道地区の水道管の延長は、約 17 k mでございます。
議 長	中村充子君。
中 村 議 員	ありがとうございました。承知いたしました。 1977 年 3 月和木地区公共下水道が完成しています。 1981 年 5 月瀬田・関ヶ浜地区公共下水道も供用開始しました。公共下水道に 11 億円あまりかかっています。和木地区の完成が 1977 年ですので、和木町の下水道は老朽化しています。北海道札幌市は下水管の耐震化のため液状化しやすいエリアを中心に年 20 か所のペースで施工しているようです。

どのように被害を抑制するのか気になるところです。

下水道を新設せず、悪い箇所を修繕しながら下水道は使い続けられるのでしょうか。

お尋ねします。先程の質問と重複いたしますが、下水道管、全長は何kmになりますか。

議長 山下課長。

山下都市建設課長 お答えいたします。

まず、下水道管の悪いところ、修繕しながら使い続けられるかというところですが、和木町の下水道につきましてもご指摘のとおり昭和49年に供用開始されておりますので、今年で50年を経過いたします。多くの管渠が耐用年数を迎えることから修繕だけではなく改築・更新が必要となっている状況でございます。

今後も持続可能な下水道事業を実現するために、優先順位を定め、計画的かつ効率的な維持管理を行って参りたいと考えております。

それと下水道の延長になりますけれども、下水道管の延長ですが、和木町が管理しておる下水道管の延長につきましては約60kmでございます。

議長 中村充子君。

中村議員 はい、ありがとうございました。60kmということで、悪い箇所からきちんとやっておられるということを承知いたしました。

次の質問です。

新設すると、費用はどのくらいの金額になるのでしょうか。

議長 山下課長。

山下都市
建設課長

町内の水道管及び下水道管のすべてを新たに改築・更新した場合の費用ということでございますけれども、こちらの方は、管渠の大きさであったり、材質、施工方法や施工場所の状況などによりまして工事費は大きく変動いたします。また、町内全域の管渠の更新には費用のみならず、工事の完了までに相当の期間を要しますので、工事費が上昇傾向の現時点においての試算は困難と考えております。ちなみにになりますけど、令和6年度にですね、実施予定の水道管の更新におきましては、直径が100mm、10cmの铸铁管約400mの更新工事ではありますが、こちらの事業費は約2,700万円を見込んでおり、1mあたりに換算しますと、約6万7,500円となっております。

議長

中村充子君。

中村議員

はい、わかりました。水道管の方は400mを更新して2,700万円ということで、わかりました。下水道管新設工事については、試算し難いということでございました。

新設の予算も、物価高騰の折、試算するのも難しく、人口減や費用対効果を考えると新設も難しいように思われます。

次の質問です。

何度も掘るより、水道管と下水道管を一度に新設すると幾分か安くなるのでしょうか。

議長

山下課長。

山下都市
建設課長

同時に施工した場合には、経費等の節約が出来るのではないかという所だと思いますけれども、先ほどのご質問と同様にですね、試算についてはちょっと困難なところがございますけれども、両施設とも老朽化は著しく耐震化事業は急務であります。財源の確保も今後厳しい状況であると認識しております。

工事期間中の住民への負担にも配慮しつつ、工事費の削減に向けた一括施行による改築・更新工事の実施について検討してまいりたいと考えております。

議 長

中村充子君。

中 村 議 員

ぜひ検討をよろしくお願い致します。

目に見えない場所だけに老朽化もなかなか分からないと思います。年数を経ていますのでぜひそのようなお考えでしていただければと思います。

実は、この質問書を提出したのは 2 月 14 日のことでした。

2 月 27 日の中国新聞に能登地震下水管被害という掲載がありました。市町村は軒並み財政事情が厳しい。人口減が進んで関連の料金収入が先細る中、老朽化した設備の更新も必要だ。古い管の耐震化は地面の掘り返しを伴う、国による補助金はあるものの、国交省関係者は「費用対効果を考え、ためらう自治体は多い」と指摘する。

東北地方の自治体は、予算を考えると耐震化の優先順位はどうしても低くなる。下水管の被災に備える手立てはあるのか。

日本トイレ研究所代表理事は、交通が途絶して、他の地域の支援が滞る可能性もある。各自治体が十分な量の仮設・携帯トイレを備蓄するべきだと強調する。

復興の段階で下水道を手放した例もある。宮城県石巻市の雄勝地区は東日本大震災で下水道が大きな被害を受けた。人口減を踏まえ下水道を廃止し、短期間で設置できる合併処理浄化槽に切り替えた。市の担当者は、下水管を整備し直せば時間や費用がかかり、住民にとって負担になると判断したと掲載されていました。

このような考え方、選択肢もあるのかと考えさせられました。

日本は海に囲まれた火山国だけに、どの地域に被害が起こっても不思議ではないと言われています。

圧倒的な自然の力の前には、到底立ち向かうことができないという無力感にとらわれてしまいます。

しかし、私たちの祖先たちは災害や戦争などの破滅的な状況に直面しながらも、いろいろな工夫を重ねて今の社会を作り上げてきました。

令和 6 年第 1 回(3 月)定例会

これからも知恵を出し合いながら暮らしていけたら良いと思っています。予測出来ない災害に向けて、是非準備を進めていただきますようお願いいたしまして私の質問を終わります。

ありがとうございました。

議 長 再質問はございませんね。

中 村 議 員 はい、ございません。

議 長 再質問がないようですので、以上で中村充子君の一般質問を終わります。